

## 議会報告会を開催しました。

1月28日、2月1日の二日間、市内4会場で生駒市議会主催の議会報告会を開催しました。第1部では議会から議案の審査結果や議会改革・病院事業特別委員会の活動をご報告、第2部、第3部でごみ問題やその他行政課題、議会活動に関して参加された方々からご意見を伺いました。ご来場ありがとうございました。

今回は試行開催でしたが、開催方法や周知方法に課題が残りましたし、テーマの選定も研究の余地があります。

また、議会改革特別委員会でも提案中ですが、議会報告会のほかにも特定の行政課題や計画、議会運営について市民や団体と議会間で意見交換を行う「一般会議」やテーマを特に定めない「懇談会」なども順次開催を検討していきたいと思っております。



議会報告会でいただいたご意見をとりまとめ、取扱いについて協議し、その結果を議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

## 市議会災害対策本部設置要綱を策定！

塩見まきこ市議会ニュースレター2011年秋号でも、災害発生時の議会災害対策本部設置規定の必要性について述べましたが、このたび市議会は「生駒市議会災害対策本部設置要綱」と「生駒市議会災害対策行動マニュアル」を策定しました。

これは、大災害発生時において個々の議員が入れ替わり立ち替わり市の対策本部に出入りし、市本部の動きを妨げないよう、議会内での指揮系統を明確にし、市本部と協力して円滑な災害対策の推進を図ろうというものです。

今後も災害レベルに応じた機能的な対応ができるよう、市の危機管理課と協議の上、シャドウプラン（状況に応じた複数計画）を作っておいたり訓練を行ったりすることが必要です。

この1年間は副議長という立場上、議員活動にも制約があったため、ストレスは感じなかったのですがフラストレーションが相当溜まってしまいました。

もちろん、役職についたからこそ今まで見えなかった部分も見え、勉強になったことも多々あり、得がたい経験をさせていただきました。この1年間末熟な私をお支えくださった皆様に感謝申し上げます。

今後はこの経験を活かしながら再び一議員として今まで以上に活動してまいります。皆さまのご指導を賜りますようお願いいたします。

## 南船北馬 東奔西走

この一年間は副議長としての公務も多く、思うように政治活動や市民活動に時間を割けませんでした。合間をぬって友人の選挙応援や市民運動に参加しています。

### 1. 「みんなで決めよう！原発・国民投票」の市民活動

年末年始は、日本のエネルギー政策を国民投票で決めることを目指す市民団体「みんなで決めよう！原発・国民投票」が行っている原発・大阪市民投票条例の制定を求める直接請求運動に、1月末は研修会で東京に行ったついでに原発・東京都民投票の制定を求める直接請求運動にサポーター参加。

また同会が開催する学習会の講師やシンポジウムのコーディネーターを務めました。なお、住民投票の意義についての私へのインタビュー記事が3月23日付の朝日新聞夕刊に掲載されました。



### 2. 茨木市長選挙応援

4月に入ってからは茨木市長選挙に立候補した市民派議員仲間の桂むつこさんの応援に入りました。残念ながら、自分たちのまちの将来は自分たちでつくろうという桂さんの訴えは届かず、大阪維新の会の候補者に敗れてしまいました。

ボトムアップ型まちづくりよりもトップダウン式が支持されたことは今の政治に対する閉塞感のあらわれと受け止めますが、マニフェストを掲げることが当たり前になったこの時代の首長選挙でさえ政策が論争にならないのは応援していても歯がゆい思いでした。

### 3. 京丹後市長選挙候補予定者の応援

4月10日には、議会改革における調査でもお世話になっている大同まもる京丹後市議会前議長が京丹後市長選挙に出馬されるとお聞きし、応援弁士として「励ます集い」に駆けつけました。

大同さんは京丹後市議会を議会改革度ランキング全国一位に押し上げた立役者で、市民との対話を重視。議会改革が市政にもたらす意義や全国的に評価される大同さんのご功績と支援を訴えてきました。

## 塩見の議会報告会 & 塩見との意見交換会

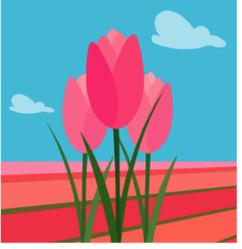
5月12日（土）13時半～15時半  
南コミュニティセンター301号室

このニュースでは審査のほんの一部しかお伝えできません。予算のこと、リニア新幹線の決議のことなど、皆様のご意見をお聞かせください。





議会と行政にホンモノの緊張関係を！  
しおみ  
**塩見まきこ**  
市議会ニュースレター



2012年 冬・春合併号

発行責任者：塩見牧子 〒630-0213 生駒市東生駒 1-215-402 TEL:0743-75-3403 FAX:0743-74-8518 e-mail:shioimi753@yahoo.co.jp web: [塩見まきこ](#) [検索](#)

## 2012年度予算はすべて可決！～環境配慮社会構築、子育て支援などに重点～

3月定例会で市議会は、一般会計予算のほか7特別会計、2企業会計予算をいずれも原案可決しました。一般会計予算は、防犯灯・街路灯のLED化、太陽光発電システムや雨水タンク設置補助件数、補助金額の増額など環境配慮社会構築のほか、待機児童解消のための保育所整備等の子育て支援、北生駒駅周辺の道路新設改良事業などの都市基盤整備に重点が置かれています。予算規模は一般会計で330億円、特別会計、企業会計で266億円。総額で前年度比3.5%増の「積極的予算」となっております。

### 国民健康保険税の賦課限度額を引き上げ

国民健康保険特別会計は平成19年度決算で基金が底をつき、平成20年度に保険税の引き上げがあったものの決算では赤字で、一般会計から法定繰入とは別に約2億1千万円余りを借入れました。

その後、平成22年度決算で黒字となったため、平成23年度に2800万円を償還。平成23年度も黒字決算が見込まれるため、平成24年度に残る1億8800万円を返済するとともに、今後も収支均衡を保つため国保税の賦課限度額を4万円引き上げる内容の予算案が提出されました。

黒字ならば一般会計に返済せず基金に積み立て、限度額引き上げもすべきではないとの反対意見もありましたが、「借りた金はまず返す」のが原則ですし、高齢化が進んで今後も余裕ある財政状態になることは見込めません。また、市もジェネリック薬品の推奨、医療費分析、柔道整復のレセプト点検など歳出抑制のための研究、事業に取り組んでいることを評価し、塩見は国民健康保険特別会計予算案に賛成しました。

### 試行錯誤が続く「予算特別委員会」の審査方法

予算は一体のものなのに常任委員会ごとに分割して採決するのはおかしい、という認識のもと、昨年特別委員会を設置し、常任委員会単位の4分科会で審査、分科会では採決せず議長を除く23人の特別委員会で採決しています。

しかし、議事進行が予算費目ごとに行われていないため、質疑があつちに飛びこつちに飛び、数分前の案件がまた別の委員によって蒸し返されるなど、質疑が拡散かつ間延びしてしまっています。

東村山市議会では「総務費」「衛生費」など予算費目ごとに審査を行っており、この方法なら拡散の幅は狭められますし、委員会に出席する職員も限定され必要以上に職員を拘束せずすむので、今後改善提案したいと思っております。

また、費目やその費目に属する事業の質疑だけでいいのか？ということも毎回感じます。費目ごとの年次変化はもちろんのこと、決算審査が反映されているか？新規事業がちゃんと市の計画に位置づけられた施策の目的を達成できる内容になっているか？予算編成における査定の経過はどうだったのか？など多角的に審査したいのですが、一人の議員が議案書を手にしてから審査までの限られた時間で全てを行うには限界があります。審査方法をシステムチックにして議会がチームとして審査する必要を感じています。

そのためには、会期を長くするとか、常任委員会の日程と予算委員会の日程を分けるとか、いろんな課題が見えてきて、審査方法が固まるにはまだ時間がかかりそうです。

